



2019年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年7月26日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	4,677	6.6	539	△11.4	574	△8.6	282	△43.0
2018年3月期第1四半期	4,386	15.4	609	68.3	628	67.8	495	77.6

(注) 包括利益 2019年3月期 第1四半期 343百万円 (△30.8%) 2018年3月期 第1四半期 496百万円 (217.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	9.19	9.14
2018年3月期第1四半期	15.70	15.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	37,812	27,451	71.2
2018年3月期	38,398	27,528	70.3

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 26,928百万円 2018年3月期 26,999百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,400	△7.7	820	△66.5	870	△64.8	650	△65.5	21.13
通期	21,900	6.3	4,290	13.3	4,360	13.4	3,200	4.2	104.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期1Q	32,421,577株	2018年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	1,653,830株	2018年3月期	1,665,930株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期1Q	30,761,381株	2018年3月期1Q	31,583,582株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示方法の変更）

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におきましては、経常利益は5億74百万円（前年同期比54百万円減）を計上しておりますが、本年6月25日に公表いたしました無呼吸アラーム「ベビーセンス™」の自主回収に関連して今後発生すると見込まれる費用の総額172百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円（前年同期比2億12百万円減）となりました。

営業面におきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、薬価引下げがありました。また、販売数量の増加により売上高は伸長し28億88百万円（前年同期比1億50百万円増）となりました。また、再生医療等製品「テムセル®HS注」は順調に売上高が伸長し5億43百万円（前年同期比2億71百万円増）となりました。一方で、遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤「エポエチンアルファBS注JCR」は販売数量は増加したものの、売上高11億13百万円（前年同期比75百万円減）となりました。これらの結果、医薬品事業の売上高は45億67百万円（前年同期比3億18百万円増）となり、医療用・研究用機器事業の売上高1億10百万円（前年同期比26百万円減）を合わせた当社グループ全体の売上高は46億77百万円（前年同期比2億91百万円増）となりました。

また、利益面におきましては、売上高の増収に伴い売上総利益が30億96百万円（前年同期比1億2百万円増）となりました。また、売上高の増加に伴い販売費についても増加し、研究開発費8億25百万円（前年同期比30百万円増）を含む販売費及び一般管理費の増加（前年同期比1億71百万円増）により、営業利益は5億39百万円（前年同期比69百万円減）、経常利益は5億74百万円（前年同期比54百万円減）となりました。また、前述のとおり特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億82百万円（前年同期比2億12百万円減）となりました。

研究開発面におきましては、成長ホルモン製剤では、本年7月から「グロウジェクト®」の効能追加のためにSHOX異常症患者に対する第Ⅲ相臨床試験を開始した他、持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）は前臨床開発の段階にあります。ライソゾーム病領域では、昨年9月にファブリー病治療酵素製剤（アガルシダーゼベータ）のバイオ後続品（開発番号：JR-051）の製造販売承認申請をおこないました。また、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）のブラジル連邦共和国での第Ⅱ相臨床試験を本年6月に開始し、日本での第Ⅲ相臨床試験は8月から開始予定です。これに続いて今後は「J-Brain Cargo®」適用ボンベ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）およびハーラー症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-171）の研究開発を進め、これら3種類に加え更に12種類のライソゾーム病とその中枢神経障害についても、基礎研究を経て一日も早く開発パイプラインに盛り込むことを目指しております。ライソゾーム病治療酵素製剤はいずれもグローバル展開を検討しており、アメリカ合衆国での臨床開発は、本年1月に株式会社メディバルホールディングスとアメリカ合衆国に合弁で設立しましたJCR USA, Inc. で進めていく予定です。他治療領域では、キッセイ薬品工業株式会社との共同開発による持続型赤血球造血刺激因子製剤（ダルベポエチンアルファ）のバイオ後続品（開発番号：JR-131）が製造販売承認申請の準備中で、予定通りの進捗です。細胞・再生医療分野では、他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた、急性脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を昨年7月に帝人株式会社と締結し、研究開発を推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は378億12百万円（前連結会計年度末比5億86百万円減）、負債合計は103億60百万円（前連結会計年度末比5億9百万円減）、純資産合計は274億51百万円（前連結会計年度末比76百万円減）となりました。

流動資産は、売掛金およびたな卸資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億23百万円減少して223億7百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ62百万円減少して155億4百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が減少した一方で、短期借入金および賞与引当金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ82百万円増加して71億88百万円となりました。固定負債は、長期借入金および長期リース債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ5億92百万円減少して31億72百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上した一方で配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ76百万円減少して274億51百万円となりました。

これらの結果、第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.9ポイント上昇して71.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期累計期間の連結経営成績は前年同期比で増収減益となりましたが、期初予想通りの傾向であり、2019年3月期の業績予想に関しましては、2018年5月11日に公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,895	5,218
受取手形及び売掛金	7,103	6,864
有価証券	1,217	620
商品及び製品	1,759	1,570
仕掛品	1,790	1,819
原材料及び貯蔵品	5,474	5,446
その他	592	766
流動資産合計	22,831	22,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,755	4,703
土地	3,882	3,882
建設仮勘定	—	5
その他（純額）	2,215	2,092
有形固定資産合計	10,853	10,683
無形固定資産	112	103
投資その他の資産		
投資有価証券	3,194	3,276
その他	1,429	1,464
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	4,600	4,717
固定資産合計	15,567	15,504
資産合計	38,398	37,812
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	585	491
短期借入金	2,893	3,434
未払法人税等	887	278
賞与引当金	560	907
役員賞与引当金	80	100
その他	2,097	1,975
流動負債合計	7,105	7,188
固定負債		
長期借入金	2,500	1,950
債務保証損失引当金	315	307
退職給付に係る負債	641	657
その他	307	257
固定負債合計	3,764	3,172
負債合計	10,870	10,360

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,947	10,936
利益剰余金	10,469	10,320
自己株式	△4,042	△4,013
株主資本合計	26,435	26,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	462	530
為替換算調整勘定	169	155
退職給付に係る調整累計額	△67	△62
その他の包括利益累計額合計	563	623
新株予約権	344	337
非支配株主持分	185	185
純資産合計	27,528	27,451
負債純資産合計	38,398	37,812

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	4,386	4,677
売上原価	1,392	1,581
売上総利益	2,993	3,096
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	2,384	2,556
営業利益	609	539
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	14	14
為替差益	5	20
その他	3	3
営業外収益合計	27	43
営業外費用		
支払利息	6	5
有価証券償還損	—	1
その他	1	1
営業外費用合計	8	8
経常利益	628	574
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	5	8
その他	0	—
特別利益合計	6	8
特別損失		
自主回収関連損失	—	172
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	172
税金等調整前四半期純利益	634	410
法人税、住民税及び事業税	245	233
法人税等調整額	△106	△105
法人税等合計	138	127
四半期純利益	495	282
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	495	282

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	495	282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	68
為替換算調整勘定	△17	△13
退職給付に係る調整額	10	5
その他の包括利益合計	0	60
四半期包括利益	496	343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	496	343
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。